



演題：大規模リアルワールドデータを用いたがん領域の  
後方視的研究 ～技術と展望～

**Retrospective Studies in Oncology using Large-Scale Real-World Data:  
Techniques and Prospects**

演者・所属：小西 孝明 先生  
(Takaaki Konishi, MD, PhD.)

国立がん研究センター がん対策研究所 医療政策部

**Division of Health Services Research, Institute for Cancer Control,  
National Cancer Center**

日 時：令和 8 年 9 月 18 日（金）午後 4 時 30 分～午後 6 時 00 分

場 所：千葉県がんセンター旧事務研修棟 2 階大会議室

要 旨：

現実の医療現場で蓄積されるリアルワールドデータ（RWD）を用いた後方視的研究は、ランダム化比較試験等によるエビデンスの隙間を埋める役割が期待される。RWD を用いたヘルスサービスリサーチや臨床疫学・医療経済・医療情報研究の実施には、データ特性を踏まえたリサーチクエスチョン設定、臨床実態を反映した前処理、適切な統計手法の選択が必要不可欠である。当部で実施してきた **Quality Indicator** 研究やレセプトデータベース分析を発展させ、大規模 **RWD** によるがん領域の後方視的研究の成果を、診療ガイドラインや医療政策を通じて臨床現場へ還元していくことを目指している。